

持続可能な社会の実現

新たな資源循環リサイクルを可能とするものづくり
(プロセスの革新)

物質化学科

吉田 紘貴

村田 しゅんや

テーマ設定の理由

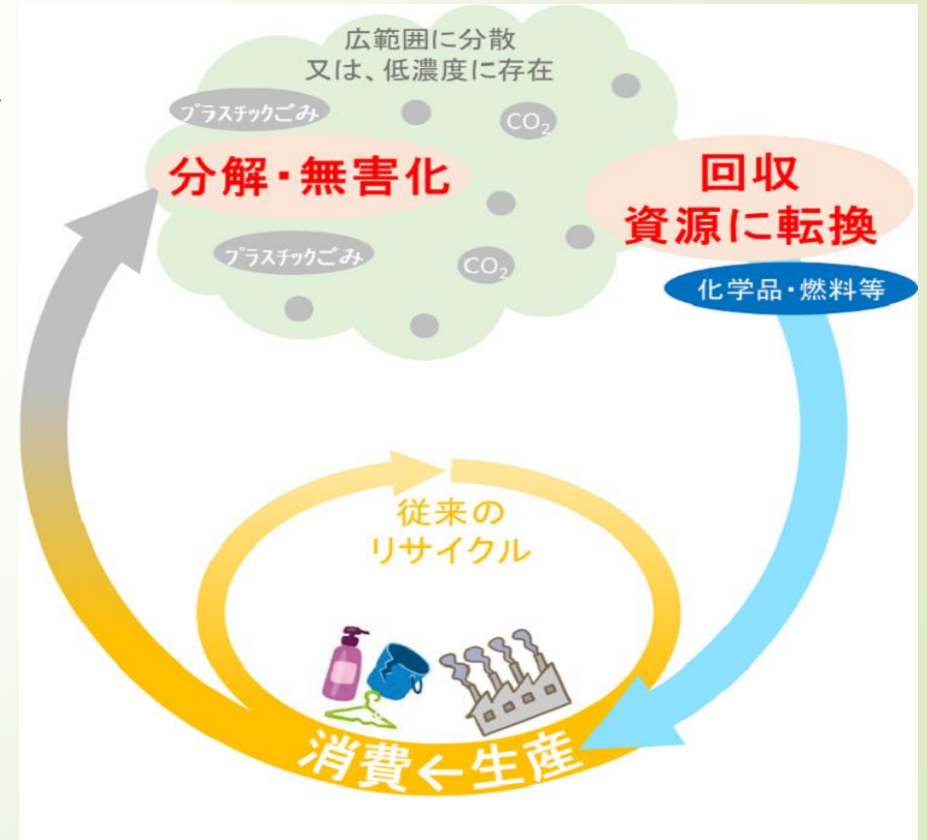
ごみの分別などがよく行われていないから
このままでは持続可能な社会がうまく実現
されないから



現状

- 近年資源価格が下落し、リサイクルの推進には逆風の状況

(資源確保の観点から、将来に備えたりリサイクルの推進は引き続き必要)



問題点

- 廃製品等の回収量確保
- 破碎・選別・製錬
- 高効率かつ低コストな技術の導入

解決策

- 資源確保の観点から、将来に備えたりリサイクルの推進は引き続き必要でまずは自分たちの身近な自治体から始めることが必要
- 適切な処理が行われ、資源が有効に回収される仕組みも必要
- 野焼き等の不適切処理による環境汚染、健康被害、資源損害をできるだけ少なくする
- 高効率かつ低コストな技術の導入



SDG s 実現のために10代からの 提言

- 自分は関係ないとは思わず、まずは1人1人が持続可能な社会についてよく考えていけば持続可能な社会の実現に近づくと思う。

考察・感想

- 持続可能な社会は知名度は上がっているかもしれないがそれは一部だけだと分かった。
- 持続可能な社会は一部の力では解決できるものではないと思ったし、だからこそより多くの人に知ってもらい、より多くの人と協力することが必要だと思った。